単元構想版「ICT を活用したまなび」授業実践

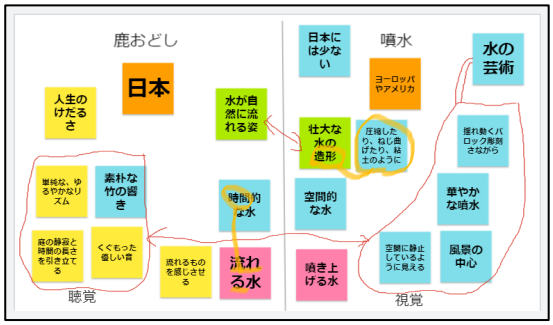
教科・科目	国語・現代の国語	学年	高校１年
単元名 (教材名)	・対比の関係に注意しながら内容をスライド資料にまとめ、筆者の考えを捉えよう。 （「水の東西」『現代の国語』大修館書店）		
単元の 目 標	・評論の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握することができる。（C 読むこと(１)ア）		

時	学習活動	ICT 活用
①	◯学習の見通しをもつ。 ・目標と、単元の問いを確認する。 **単元の問い**：「「鹿おどしは日本人が水を鑑賞する行為の極致を現す仕掛けだと言えるかもしれない」と筆者が考えるのはなぜか」 ・「水の東西」を通読し、本文をいくつの段落に分けるか検討する。	【電子黒板】 ・学習目標、学習計画を確認する。 ・既習の評論のスライド（教師作成）を見てイメージをもつ。
②	◯対比の関係を整理する。 ・本文から対比的に書かれている事柄を抜き出し、「日本」と「西洋」に分ける。 ★資料１ Jamboard を参照	【学習者用端末】★Jamboard ・フレームを縦に分割して、対比の関係を視覚的に整理する。 ・共同編集機能を用い、グループで作業をしてもよい。
③ ④	◯「日本」と「西洋」の対比を明確にしながら、本文を段落ごとに要約する。 ★資料２ スライド を参照	【学習者用端末】★スライド ・１段落１スライドにまとめる。 ・共同編集機能を用い、グループで作成するなどしてもよい。
⑤ ⑥	◯単元の問いについての考えを書き、交流する。 ★資料３ スプレッドシート を参照	【学習者用端末】★スプレッドシート ・共同編集機能を用いてクラス全員で一つのファイルを共有し、自分に割り当てられた行に記入する。 ・端末上で互いの考えを読み合い、コメントを入れる。
⑦	◯学習を振り返る。	

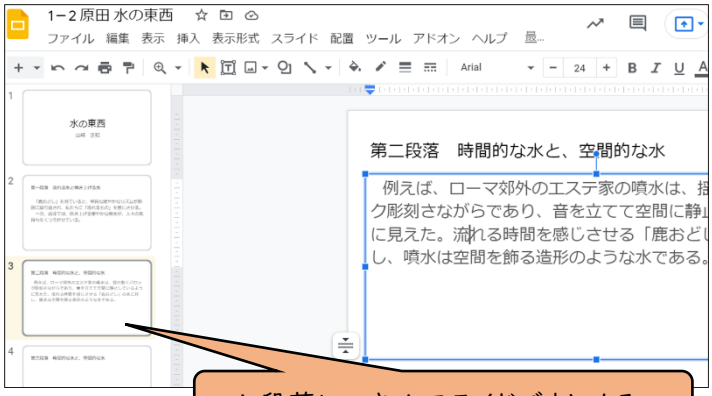
【電子黒板】必要に応じ生徒の画面を映し、説明させるなどする。

備　考
・②～④においては、クラスの実態や学習の定着具合などに応じ、個人作業とグループ作業を使い分ける。 ・随時、電子黒板を活用して生徒が作成したものを全体に提示し、生徒同士で質問や説明をし合うなどしてクラス全体で考えを共有する機会をもつとよい。

★資料１ Jamboard



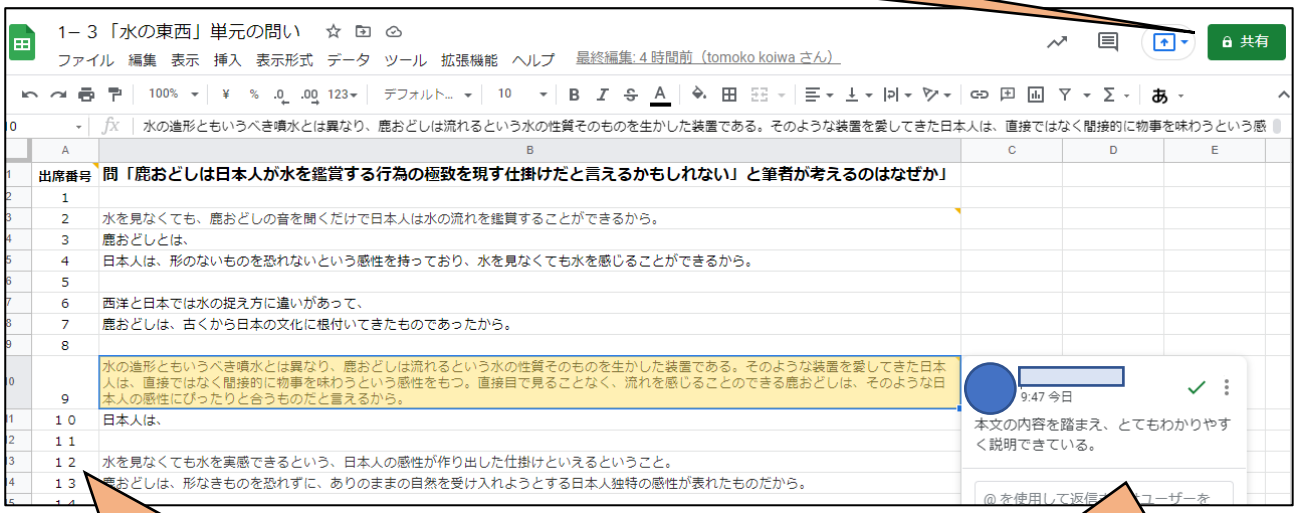
★資料２ スライド



１段落につき１スライドでまとめる。

クラス全員で１ファイルを共有する。

★資料３ スプレッドシート



一人に１行割り当てる。

互いの考えに付けたコメント

作成【　奈良県立教育研究所　】